青空文庫（8）「銀河鉄道の夜」（15）宮沢賢治

月　　日　名前

見ながら練習

なぞって練習

先生はまた言いました。「ですからもしもこの天の川がほんとうに川だと考えるなら、その一つ一つの小さな星はみんなその川のそこの砂や砂利の粒にもあたるわけです。またこれを巨きな乳の流れと考えるなら、

■ふりがな（青空文庫のふりがなより）
- 砂：すな
- 砂利：じゃり
- 粒；つぶ
- 巨きな乳の流れ：おおきなちちのながれ

copyright (c) まる字の無料ペン字練習と漢字検定テキスト集 all right reserved.